

村上市総合計画審議会 会議録

会議名	第4回 村上市総合計画審議会
年月日	令和3年8月25日(水) 10:00～11:45
会場	村上市役所4階 大会議室
出席者	<p>【委員】 石黒委員、大矢委員、加藤委員、吉川委員、木村委員、斎藤委員、佐々木委員、佐藤(伸)委員、佐藤(八)委員、穴戸委員(会長)、瀬賀委員、高橋(忠)委員、土谷委員、八藤後委員、渡邊委員(副会長) ※欠席 飯塚委員、岩佐委員、川崎委員、高橋(豊)委員、山村委員、脇坂委員</p> <p>【事務局】 企画財政課：大滝課長、田中課長補佐、田村副参事、渡辺主査、大倉主査、後藤主任 エヌシーイー：木野勢、杵鞭</p>
議事内容	
[進行] 事務局	<p>1 開会 〈欠席委員の確認〉 ・飯塚敬太委員、岩佐未紅委員、川崎久委員、高橋豊明委員、山村千絵委員、脇坂三重城委員の6名が欠席。</p>
会長	<p>2 会長挨拶 〈あいさつ〉</p>
事務局	<p>3 議事 (1) 基本計画の体系(案)と基本構想(素案)について(資料1) (事務局が資料を説明)</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。只今資料1に基づきまして、事務局から説明がございました。 これにつきまして、委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。</p>
委員	<p>基本目標が第2次総合計画の時から1つ抜けて5つになったということですが、第2次総合計画の基本目標6は、「ひとりひとりが活躍する、市民が主役のまちづくり」というような定義がされています。一市民としては、やはり市民が主役ということにこだわりがあるので、この「多様で開かれたまちづくり」というような形で今回事務局案が提出されましたが、「ひとりひとりが活躍する、市民が主役のまちづくり」というイメージをやはり大事にしていきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。市民が主役という概念については、本日お示しの案ではどのような考え方で整理されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>「多様」という言葉の中には、様々な立場、考え方が入っており、この中に「ひとりひとり」という言葉や「主役」というニュアンスも含まれたようなイメージで、案を策定しているところでございます。</p>

委員	<p>「ひとりひとりが活躍し、市民が主役のまちづくり」を「多様」という言葉で表しているということだと思のですが、最近はこの「多様」という、わかるようでわからないような意味の言葉がよく使われるのですが、もう少し具体的に、「多様」という言葉の中身と「多様で開かれた」という連続性の意味を教えてくださいたいです。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、「多様」という言葉は最近多く出てきている言葉でございます。先ほどお話ししましたとおり、高齢者、障がい者、外国の方など、いわゆる人に関わるものや、企業や団体、組織に関わるもの、あとはやり方、取組方など、様々なというようなニュアンスのものと承知しております。それぞれが連携、協力し合って、物事を進めていく。市役所だけではなく、市民だけではなく、手を取り合いながら行政運営を行うなど、村上市をよくしていこうというようなニュアンスで考えております。</p>
委員	<p>「笑顔のまち村上」の下に、「健康で元気な様子」、「いきいき活力のある様子」などありますが、読んだ感じでは「様子」がずっと続いているのは違和感があり、他の言葉でも置き換えられるのではないかと思います。その点はいかがでしょう。</p>
事務局	<p>これは、あくまでも「笑顔のまち村上」に込められたものが、どのようなイメージをしているかということを書き列したものであって、「～の様子」というものが、そのまま基本計画になるというものではありません。皆さんがイメージしやすく、こういう風になったらよいというイメージが「笑顔」という言葉の中に含まれることを、わかりやすく説明するためにはどうしたらよいかという意味で記載していますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>私は、体系案のことでいくつか意見があります。</p> <p>まちの将来像の囲みがあります。この中の表現が、資料2のまちの将来像についての説明文に書かれている表現と異なっているので、揃えることを提案したいと思ひました。私は資料2の表現に揃えた方がよいのではないかと思ひました。両方同じようなことを言っているのですが、違うように書かれていて少し混乱すると思ひたので、統一した方がよいのではないかと思ひました。</p> <p>それから、資料1の体系案の政策分野の表現について意見があります。項目が、資料2の内容と照らし合わせると番号と内容が異なるので、紛らわしいと思ひました。いくつか例を挙げますと、基本目標1の政策分野「⑤地域福祉」については高齢者福祉や子育て支援、障がい者福祉も含めての概念ではないかと私は受け取っていたので、どのように分けたのか聞きたいと思ひましたし、もう少し表現を変えた方がよいのではないかと思ひます。</p> <p>それから、基本目標2で、「④環境・エネルギー」と「⑤生活環境」という表現の「環境」という概念も少し紛らわしいと思ひました。この枠内の11項目は、全て生活環境と言えるのではないかとこの点で紛らわしいと感じました。</p> <p>そこで、政策分野の提案ということで、この項目はむしろ基本目標を検討してから、その達成のためにどのような政策が必要で、その分野はどこかという順番で考えていくことが、検討するうえで理解しやすいのではないかと思ひました。つまり、目標達成のためにどのような政策が必要で、それはどのような分野かといった順番で考えていった方が検討しやすいのではないかと思ひます。そうすることは、実務をやっていくうえでも、的確に管轄部署を設定できるのではないかと思ひました。</p> <p>もう一点あります。基本目標の表現についても意見があります。先ほどシン</p>

	<p>プルにという説明がありました。シンプルは大事な事かと思いつつも、目標という考え方で考えると「～のまちづくり」という表現はとても気に入りました。目標というものは、このような状態にしたいということだと思います。例えば、「子育てと健康のまちづくり」という表現は、できれば「子育てがしやすい生活環境を整備して、若い人口層が暮らせるようにする」。また、もう一つは、多様な健康レベルがありますから、「多様な健康レベルに応じた保健医療と福祉を提供する生活環境を整えて、子どもから高齢者までがそれを適切に利用できるようにする」といったように二つに分けて、項目をさらに具体的に表現するために、簡単に示した言葉とその中に言葉を添えていく方が、何を目標にどう動いたらよいかということに繋げやすいのではないかと考えました。</p> <p>その例として提案したいことが、基本目標2を「自然が豊かで癒される生活環境を維持する」、「大災害や新興感染症、事件・事故などから生命や財産を守る生活環境を整備して、より安心な暮らしを送ることができる住民を増やす」という二つに分けたらどうかということです。</p> <p>それから基本目標3については、「市内外の人が定住や交流をしたいという魅力をつくり出すような産業や観光に振興が図られる」。それが結局賑わいにも繋がると思います。</p> <p>基本目標4については、「市内外の人材が多様な場面で活躍できる生活環境を整える」または「生涯にわたる学習の機会、教育の機会の公平な維持と拡張によって文化やスポーツに親しむ喜びを感じる住民を増やす」。</p> <p>基本目標5については、先ほど多様という言葉はどうかといった意見が出ましたが、「多様で開かれた機会と手法、やり方によって市内外の人々の交流が増える」と「多様で開かれた手法によって行政の運営が行われる」の二つに分けることで、より政策分野を決める時に、具体的に動けるのではないかと考えて提案したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>只今のご意見を踏まえますと、大きく二つあるかと思います。まず一つは、この資料1と資料2で項目の数が合っていないこと。先ほどの「～の様子」にしても、資料1では5つの様子が記載されていますが、資料2では4つの様子となっており、一致していないのではないかと、資料2に合わせるべきではないかということです。確かに資料1は便宜的に作った資料であったとしても、このようなところは合っていないとどっちなのかということになってしまいますので、ご指摘として意見を承りたいと存じます。</p> <p>もう一つは、具体的な案もお示しいただきましたが、基本目標について、事務局ではシンプルに「～のまちづくり」というまさにキャッチフレーズのようなもので作りましたが、委員からのご意見としては、長くなるかもしれないが、もう少し詳しく、イメージが付きやすい、まさに目標という言葉に相応しいようなものにしたらどうかというご意見を賜ったと存じます。</p> <p>これにつきまして、骨格の部分でありますので、他の委員の皆様からもご意見を賜りたいと存じます。委員の皆様いかがでしょうか。特にこの基本目標について、今回事務局はシンプルにという方針で案を作ってきたということです。これについて今ご意見が出たところでございますが、委員の皆様はいかがでございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>目標は具体的な方がよいと思います。</p> <p>また、まちづくりの将来像ということで、「笑顔のまち村上」と書かれています。これが別の表現になると何か目標が変わるのか。目標と目指すところ</p>

<p>会長</p>	<p>については、将来像の部分が詳しくないと目標が立てられないのではないかと 思うのですがいかがでしょうか。</p> <p>ご意見ありがとうございます。後ほど事務局から考え方を聞きたいと思いま すが、まず委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。いかがでございまし ょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは、目標が目指す状況を示すべきだというのは、ご意見のとおりだと思 います。まとめ方として、資料2の方を拝見しますと、目標の項目という部分 ともう少し具体的なものが、それぞれの目標にぶら下がっているところもあり ますので、まとめ方としてシンプルにタイトルを付けて、その中身を資料2で 説明するというやり方もあるのかなという気はいたしました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>タイトルはシンプルに、そして例えば3ページの(1)でしたら、「子育てし やすいまちづくりと支え合いが広がるまちづくりにより、健康で安心できる暮 らしの実現を目指します」といったところをもう少し具体的にすること です。</p> <p>続きましてご意見いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>会長からご指摘のあった件につきましては、後で意見を述べさせてもらいま すが、政策分野のところの一つだけ確認と提案をさせてもらってよろしいでし ょうか。</p> <p>基本計画の体系について、基本目標2「豊かで安心なまちづくり」とありま すが、その中の⑦に「河川・排水路」とあります。ご存じのとおり村上市は日 本海、いわゆる海岸線を持っている市でもあります。約50kmの非常に長い海 岸線を持っております。そうすると、防災面から捉えれば当然のように海岸も 含まれる。これは地震、津波と直結しますので、政策分野⑦については、海岸 あるいは海岸線でも結構ですので、「海岸」という文言を加えるべきだと思 います。大事な防災の分野と考えますので、ご検討をお願いしたいということ であります。</p> <p>それから、先ほど会長からご指示のあった基本目標について、様々なご意見 がありましたが、私は事務局の考え方もズバリだというように思っております。 ただ、全ての基本目標を「まちづくり」という括りで捉えているところに 違和感がある。全て「まちづくり」という捉え方で果たしてよいのかどうか。 具体的な政策に入っていく時に、「まちづくり」ということで括られたものか ら果たして何が派生していくのか疑問符が残ったというところで、文言的な考 え方ですがそのように思いました。</p> <p>あとは、細かく基本目標を分けていくとありますが、これは最終的に資料2 の中である程度盛り込んでいければよいのではないかと。目標自体はシンプルに わかりやすくというのが基本的な考えだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>基本目標2の政策分野の中で、「⑩市街地・景観」とありますが、私は昔の村 上城址があるところに時々登ったりするのですが、やはり景観とそこに開けた 「眺望」という言葉を加えていただきたいと思っています。お城山から海や川 を眺めるのは、また、村上の人たちが住む生活の場を眺めるのは、昔の殿様で はないのですが、非常に気持ちがよいので、是非「眺望」という言葉を加えて いただければと思います。</p>

委員	<p>皆様のご意見をもっともだと聞いておりました。まちの将来像の「笑顔のまち村上」というのは、第2次総合計画では「やさしさと輝きに満ちた」という前文があったのですが、それが取られたのはなぜかなと思いました。これはあった方がよいのではないかと思ったことと、第2次総合計画では基本目標が6個だったのが5個に減っています。皆さんがおっしゃるとおり5つでもよいのですが、第2次総合計画の6個はとてもわかりやすく素敵な文章が書かれています。でも、それをシンプルにまとめたという気持ちもわからなくもないし、「多様」という言葉に一括りにするのも、わかりやすいようなわかりにくいような難しい部分ではあるのですが、第2次総合計画の基本目標6個とこの5個を上手に組み合わせ、足して2で割ったような文章にできないものかと思えます。そうすれば、上手くまとまるのかと思いました。</p>
委員	<p>言葉のことで、基本目標というのは目標というよりは方針なのかなと思って、目標は具体的に数字があった方がよいとか、期限があった方がよいということはよく聞く話ですが、こちらに書かれている基本目標というものは、やはり大きな方針の部分で、資料2の「まちづくりの基本目標」と3ページに書いてあるのも、「目指す」とか「進めることとします」と書いてありますが、これも方針なのではないかという、言葉の定義で難しいのですが、目標と方針の違いというのは、どのように使い分けているのかということのを少し思いました。</p> <p>会社だと目標は数字とか時期を明確にしましょうという話をするのですが、このような大きな向かうところというのは、「方針」として普段使っているの、その辺の共通認識が多分世の中にはないのかもしれないですが、計画を作るにあたって大事なことかと思えますので、ご意見させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今まで多数のご意見を委員の皆様から頂戴いたしましたので、ここで一旦、交通整理をする観点からも、事務局としての考え方を示していただければありがたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>皆様たくさんのご意見ありがとうございました。</p> <p>まず、最初にお話がありました資料1と資料2のまちの将来像の下の書きぶりのところですが、若干異なっているところに大きな意図はございません。資料2のイメージでよろしいかと考えております。</p> <p>基本目標の考え方ですが、シンプルの方がよいというご意見、具体的な方がよいというご意見、真ん中でよいのではないかというご意見、様々いただきました。事務局としましては、冒頭にお話ししましたシンプルで伝えやすい、若い方にも最初のイメージを捉えてもらいやすいというようなところで、基本目標を設定して、中身につきましては、本日ご用意した資料2のところ伝えていきたいと言いますか、2段構えと言ったら変なのですけれども、そのような作り込みをしておったところがございます。</p> <p>また、政策分野でこのような文言がよい、もしくはこのような文言を足した方がよいというところについては、計画を作るうえで参考にさせていただきたいと考えております。</p> <p>最後に委員からお話がありました基本目標という言葉なのですが、私どもの方としましては、総合計画における基本目標については、まちの将来像を実現するための取組の基本的な方向性を示すものということで、作り込みをしておりました。</p> <p>「やさしさと輝きに満ちた」がなぜ無くなったかというところは、「笑顔」という言葉について、先ほどはシンプルという話をさせていただきました。「や</p>

	<p>さしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上」というものも素晴らしい将来像ではあると思いますが、さらに皆さんに伝えやすい「笑顔のまち村上」というような伝えやすい、皆で認識して一体的に村上市を盛り上げていこうというところで、「笑顔」という言葉に思いを強く込めたというところです。そして、基本目標の「子育て」であったり、「安心」であったり、「笑顔」、「賑わい」、「郷育」、「多様」、「輝く」、「魅力」、この辺りも全て「笑顔」に繋がるのではないかと考えております。</p> <p>会長 ありがとうございます。 只今、事務局から現時点での考え方を示してもらったところですが、ちなみにこの資料1というのは、これはあくまでも骨格であって、これが計画ではないのです。計画というのは、まさに基本構想の資料2の方ですよね。資料2をわかりやすく概要だけを示したものが資料1というように考えてよいのですよね。 だとしたら、先ほど言ったシンプルか詳細かというある意味一見対立するような議論に聞こえましたが、よくよく考えてみると、資料2の(1)(2)と書かれているタイトルはシンプルに、そして丸四角に示されているものがまさに目標、目指すもの、村上市としてはこれを目指すということがシンプルなタイトルだけではわかりづらいので、それをもう少し具体的にすべしというご意見も踏まえつつ、丸四角の部分をより詳細に書くというようにして、①②③④と続いていくという構成にすれば、本日皆様からご意見をいただきましたご主旨にも合うのではないかと、私としては思ったところでございます。</p> <p>委員 今の話の丸四角というのは、資料1の黒い囲みのことなのですか。子育て・医療・福祉というそのようなお話でしょうか。もしそうであるとすれば、今の話に賛同します。</p> <p>会長 丸四角の部分を、それこそ資料1では、多分事務局はよりぎゅっとまとめてこの黒括弧に変えたと思うのです。でもこの黒括弧は、それ自体はあくまでも概要であって、本来我々審議会が答申し、そして市として決めてもらう基本構想はこの丸四角の方なのですよね。というところで申し上げた次第でございます。</p> <p>委員 今のお話は、例えば基本目標1の「～のまちづくり」というタイトルにして、その丸四角の部分が3つの単語になっていますけれど、ここをもう少し具体的に表現していく。私も提案したようなそういう形にしていくということであれば、私は賛成です。</p> <p>会長 ありがとうございます。只今委員からご意見を頂戴したところでございます。他の委員の皆様はいかががでしょうか。</p> <p>委員 言葉の印象なのですが、「笑顔のまち村上」という総合計画の基本的な考え方は、特に反対というわけではないのですが、この「笑顔のまち」は、村上以外でも通用するというか、あるいは「笑顔の国日本」でもよいし、非常にシンプルなのですが、もう少し何かあった方がよいかと思います。そういう印象があるということで特にこれに絶対反対というようなことではございません。</p> <p>会長 ありがとうございます。 もう一つの論点となっております「まちの将来像」について、委員の皆様か</p>
--	---

	<p>らご意見を賜りたいと存じます。いかがでございましょう。</p> <p>では私から。確かに「笑顔のまち」は、私は悪くないと思います。やはり事務局が説明するとおり、全ては「笑顔」に集約される、ですから間違っていない。ただ、第2次総合計画のまちの将来像でも使われている言葉であって、その前にあった言葉がごっそり抜けてしまったというところに、委員の皆様からもご意見が出ていたと思います。ですから、例えば「笑顔のまち」について、もしも「笑顔」を活かしたいのであれば、「笑顔あふれるまち村上」というように、「笑顔のまち」をただ単にそのままそっくり使うのではなく、少し変えてみて「笑顔」という言葉と「村上」という言葉を共に使って、他の言葉にできないかなというように、もう一度考えていただけたらと思います。委員の皆様いかがでしょうか。ご意見を賜りたいと存じます。</p>
委員	<p>おっしゃるとおりだと思います。「笑顔」の後に「あふれる」とか「満ちた」とか「笑顔」に何か付けるのはよいかと思います。</p>
委員	<p>私は、第2次総合計画の将来像は委員の方が色々ご苦労して作られた表現だとは思いますが、「笑顔のまち村上」とシンプルでもよいのではないかと思います。やはり「笑顔」とかそのような表現で将来像を描くのは、少しぼやとした感じかと思うのですが、いわゆる幸福を追求する権利を出すようなまちというような、そうすると心地よくて皆が笑顔になると、そのように考えれば、「笑顔のまち村上」というところである意味少し妥協すると言いますか、そのように思います。</p> <p>ただ、前回の計画を引き継いでというお話が冒頭からあるのですが、やはり時代の背景などが色々変わってきたりすることもあるとあって、細かい表現というよりは大きな方向性が大きく違わなければよいのかと、今までの経過を考えて思っています。冒頭には「笑顔のまち村上」という表現は曖昧ではないかと思っずと見てきたのですが、今はそのように考えています。</p>
事務局	<p>大変ありがとうございました。</p> <p>ここで情報提供をさせていただきたいと思います。第1次総合計画の将来像は「元気 e まち村上」、そして第2期次総合計画が「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上」ということとさせていただきます。「元気 e まち村上」については、賛否両論がありました。それから「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上」については、長いと言われました。審議会の冒頭で市民憲章を読み上げますが、この市民憲章を作った時にも、どこのまちでもあり得る内容だというようなことを言われました。</p> <p>ですが、市民憲章を作る時には、5つのまちが合併し、皆それぞれに故郷を持っていて、その故郷に持つ村上のイメージは全くひとりひとり異なります。ですので、一つの言葉に多様な考え方を持つ、例えばAさんとBさんが「笑顔」にイメージするものは違って当たり前なのです。そこをもう少しお考えいただきたいと思います。様々な考え方があってよいではないか、そのような思いがこの「笑顔」の中には含まれていて、先ほど事務局がシンプルにと言ったのはそのようなこともあるのです。その文字を見てどのようなイメージをされるかというのは人それぞれ違っているのだけれど、やはり村上をよいまちにしようという意味で「笑顔」という言葉に集約して、一つ一つに込められたものは違うのだけれども、短くまとめれば様々な考え方ができるというようにしたのがこの文字であって、それ以上の言葉はないと私は考えますが、「あふれる」という言葉が付いた方がよいとご意見をいただくのならば、その方がよいのかと思います。</p>

委員	<p>今の説明を聞いて、もっともだなと思いました。先ほど「笑顔あふれる」とか「笑顔満ちた」とか言いましたが、確かに「笑顔のまち村上」という言葉に込めた意味はすごく広いので、気持ちは半分半分です。確かにシンプルの方が訴えるものは大きいし、長くなればなるほどあまり伝わらないということは当たり前のことなのですが、気持ちは半々です。</p>
副会長	<p>私は第1次総合計画と第2次総合計画の策定にも関わらせていただいたのですが、今委員がおっしゃったように、言葉を短くするという事は簡単なようなのですが、実はすごく重みがあることだと思うのです。第2次総合計画から第3次総合計画に向けてわかりやすく、でも様々なことが想像される言葉を、例えば将来像なら「笑顔」で表記したし、基本目標も6つから5つになったのも、その中でわかりやすくまとめたのだと思います。ですから、私は第3次総合計画はわかりやすい形で、でも様々な想像がつく言葉でよいと思います。これから具体的な施策に関する議論が出てくると思うので、そこで皆さんが思うことを反映させていく。将来像、基本目標については、とてもわかりやすくして私はよいのではないかなと思います。</p>
委員	<p>今、資料1のまちの将来像の下の表現を拝見していたのですが、これを先ほど委員がおっしゃった資料2のまちの将来像の下の姿と統一するというのは、私もわかりやすくしてよいと思います。そのうえで、「健康で元気な様子」、「いきいき活力のある様子」など、「様子」でおしまいにする国語辞典的な表現かなというような印象を持ってしまったので、例えば「笑顔のまち村上」の下の表現を、「健康で元気なまち」、あるいは「いきいき活力のあるまち」というような表現に置き換えてみると、もう少し具体化したイメージになるかと思えます。表現の問題ですけど、少し国語辞典的な印象を受けたので、少しそこを変えることでまた違うと思いましたので、ご検討をいただければと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは恐れ入ります。この議論は大分煮詰まってきたのではないかと思います。この議題としては資料1であります。このまちの将来像の「笑顔のまち村上」については、確かに他の文言に変えてもよいのではないかと、「あふれる」とか「満ちた」とか、そのようなこともあってもよいのではというご意見もあるとともに、この「笑顔のまち村上」でよいのではないかとというようなご意見も頂戴したところでございます。</p> <p>そのことも踏まえて、審議会としては市長に答申する時までには決めなければいけない話ではありますが、一応現時点においてはこのままとさせていただきます。かつ、本日いただいた意見、「満ちた」とか「あふれる」とか、そういったものも検討のうえ、再度ご考慮いただきたいと事務局に対して思うところでございます。</p> <p>二つ目としましては、私が言ったことの繰り返しになってしまっていますが、例えば基本目標を6つから本を今回5つにするといったことについても、副会長のお話もございましたが、やはりまとめるのはそれ相応に重要な重みのあることでもありますので、そこをよりわかりやすくするために、例えば資料2における丸四角のところを具体的に、まさに目標の名に値するように、目指すものは何なのかといったものがわかるような文言にさせていただければ、より上手く、委員の皆様からのご意見を踏まえたものになるのではないかと思います。</p>

事務局	<p>というように、議題1につきまして、このようにいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、今の主旨を踏まえて、事務局の方でも再度ご検討をお願いいたします。</p> <p>もう一つは資料2の方ですね。これについて説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(1) 基本計画の体系(案)と基本構想(素案)について(資料2) (事務局が資料を説明)</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>本日はこの資料2の表現ぶりであるとか、項目であるとか、あるいは本日新しく示されました土地利用構想などにつきまして3つのゾーンに分けるという考え方が示されたところがございますが、これにつきまして委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。</p>
委員	<p>2ページのまちづくりの基本理念の一番下の方ですが、これはこの状態で載るということなのか。それとも、この「創る」、「育む」、「広げる」で箇条書きになっていますが、これに肉付けをして定義するのか、その辺をお聞かせ願いたいです。</p>
事務局	<p>ここの表現につきましては、「創る」、「育む」、「広げる」というところには、様々な意味があるというニュアンスの書きぶりをしております。このような形での掲載を考えてはおりますが、この形で載るということが確定しているものではございません。</p>
委員	<p>2、3個質問があるのですが、「創る」の中で「物事を創り出す」と書いてありますが、これは事務局の言うようにそれこそ多様な意味があるのでしょうか、これを読んだだけでは私は理解できないのです。その後の「食を創る」というのも、様々な食に関してのものが多くあるのでそのような広い意味だと思いますし、あと「育む」で、「誇りを育む」という言葉があるのですが、これも「～で誇りを育む」と言うのであればわかりますけれども、ただ「誇りを育む」と定義されていると、このままこれが載るということは少し理解ができないというようなこともあります。</p> <p>それから「広げる」というところで、「拡大成長する」とあり、これも広い意味なのでしょうが、今はなかなか拡大成長するというような経済状況でもありませんし、結局国も村上也提起しているSDGsの持続可能な開発目標ということで、この「持続可能」ということは、あまり拡大成長を求めないで着実な一歩一歩の成長というものを目指していると思うのですが、ただ「拡大成長する」と言うと、昔の高度経済成長ではないですが、そのようなイメージがこれを読む限りは出てきますので、その3つの点、「物事を創り出す」、「誇りを育む」、「拡大成長する」ということを説明していただきたいです。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、先ほどもお伝えしましたとおり様々な意味があるということで、「創る」につきましては「創造する」というようなイメージを持っております。「誇りを育む」については、もしかすると馴染みがなく、「育む」であれば2番目に記載のある「人材を育てる」の方が馴染みのあるものなのかもしれませんが、このようなものもあるという意味合いで作らせていただきま</p>

委員	<p>した。</p> <p>また、「広げる」というところは委員がおっしゃるとおり、最近であれば「持続する」というような言葉が流行りに近いかもしれませんが、ただ成長しているという前向きな思いというものは必要であると思っておりますので、このような表現を入れました。</p> <p>「創る」という言葉については、普通に物を「作る」という字もありますが、これは社会を見ながら新しい状況を創り出すという意味で「創る」という漢字を使っていると思うのですが、やはり「創る」と言うと新しい物をつくらなければダメだというような感じもしますけれども、様々な小さい会社も、様々なものを作り出している方も、同じ物をコツコツと社会の一つの一角として一生懸命に物を作っている方もいると思うので、そのような既存の職人さんなどの地道な努力というものを、あまり新しいものを作らなければダメだと責め立てるというわけではないですが、そのようなことをここから感じたのですが、その辺はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>決して責め立てるような意味は全くございません。事務局としましては、前向きに上を向くような思いを込めた書きぶりとしているところでございます。皆さんで感じるところは様々違うかもしれませんが、前向きな思いでございます。</p>
委員	<p>お二人の意見を聞きまして、「広げる」という前向きな言葉は私もよいと思います。委員のおっしゃることも理解できます。今の時代に「拡大成長」という言葉は、戦後の復興期ではあるまいし、このような言葉はどうなのでしょう。前向きといえれば前向きなのでしょうけれども、「広げる」という言葉の中にこの「拡大成長」ではないもう少し違った言葉か、もしくは先ほど SDGs のことも出ましたが、「繋げる」とか「充実させる」とか「継続させる」とか、今あるものを未来に繋げる、子どもたちに繋げていく、そういった途切れさせないことすら足りていない世の中に、拡大ということはどうなのか。できるに越したことはないのですが、確かにプレッシャーとかも踏まえて。話は逸れますが、木材と農林水産業に関わっていると、国や県の補助金というのは増林とか田んぼの拡大とか、今まではそういった成長戦略でなければ補助金が出ないというような世の中だったので、持続可能な社会にしていくために、田んぼもやめたくない、漁業もやめたくない、林業もやめたくない、続けていくためにどうしたらよいかという方に国も県も市もしようとしていくべきではないかと思うなかで、「拡大」はどうなのかと思ったので、これはやはり未来に繋げる、子どもたちに繋げていくというような明るい繋げ方というか、満ちたうえで継続させていく努力のような言葉があればよいかと思いました。</p>
委員	<p>今のご意見にととても賛同しました。</p> <p>同じようなことになるかもしれませんが、以前事務局に文章で提案したことがあったのですが、基本理念の文面のところでやはり私も疑問を感じています。なので、このような文面を提案したいと思ったのです。</p> <p>「豊かで美しい自然が残されていること、歴史・伝統を誇りに思えるまちであること、人々の生業が産業として発展し、まちに活気があふれ、人々が持つ力を発揮できていること、この地域に生まれた人、育った人、住み暮らす人がともに心のふるさととして、常に誇りに思えること、これらを育み、さらに創り、広げることという基本理念に立って、まちづくりをしていきます」というような文章を考えたのです。</p>

	<p>これは市民憲章などにも沿っていると思いますし、まちづくり基本条例の前文にも「育む」、「創る」、「広げる」は沿うものだとは思っているので、このような表現を提案したいと思いました。</p> <p>それからもう一点は、1ページの将来像のところの文面のことなのですが、下から3行目、「市民一丸となって取り組んでいく姿を象徴する」というところがあるのですが、そこが少し引っかかりました。それは、「市民一丸となって取り組んでいく」は削除して、その代わりに「市民がそれぞれの立場でできることを主体的に取り組む姿をイメージして」というような表現で書き換えていただけたらなと考えました。</p> <p>その理由は3ページの「まちづくりの基本目標」の2～3段落のところを見てください。新たに加えられた文章が2つの段落にあって、「まちづくりは行政だけが」と「また、その取組は、全ての人々にとって」ということが書かれていますが、この文面で謳うような多様性を認める内容から見ると、先ほどの「市民一丸」ということは少し矛盾した表現ではないかと感じたからです。「一丸」ということは多様性を排除するような意味が含まれる表現なので、そこを削除して先ほど提案したような「市民それぞれの立場でできることを主体的に取り組む姿をイメージする」という表現にしたらどうかと提案したいと思います。</p> <p>それからもう一点、先ほど資料2の1ページの下の方の黒丸4つの文章は、こちらの方がよいのではないかとお話ししたのですが、ただ3番目の丸の「豊かで美しい郷土に人々が」という表現の冒頭に、私は「自然が」という言葉を入れた方が、イメージがはっきりするのではないかと思ったので、それを提案したいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。文章案についてのご意見でございました。</p>
委員	<p>一つ気になった点が、最後の方にデジタルのことがすごくしっかり書かれています。先ほどの話にもあったとおり、「持続可能な」という言葉が使われていて、それがまちづくりの基本目標のところにSDGsということで表現されていますので、デジタルも是非、このまちづくりの基本理念もしくは基本目標のところに「デジタル」という文言を入れていただいて、これだけ今回しっかりとデジタルを介した政策をしていくわけですので、取り入れていただけたらもう少しイメージが付きやすいかと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員のご意見は、基本目標の柱に「デジタル」ということがわかるような、政策分野では書かれているものなのでそれを明確にするべきではないかということでしょうか。</p>
委員	<p>ここで発言するものではないかもしれませんが、私がこの審議会に一般公募で応募したのは、今世界や日本を席卷している新型コロナウイルスを村上市はどのように捉えて、確かに村上市は発症者も少ないと言え少ないのですが、昨日も3人プラスということで、徐々にこのコロナウイルスは新潟県にも身近に迫っているという感じです。今皆さんと語っているのはあくまでも第2次総合計画を継承しつつ新たなものを作っていくということなのですが、新型コロナウイルスの変異株が世界を席卷しているような状況で、その危機感というか、第2次総合計画は平和な状態でやっていたと思うのですが、今ははっきり言って緊急事態、あるいは非常事態と言ってもよいと思うのです。それがこの全体の議論の中である程度しっかりした、コロナに対する心構えというもの</p>

委員	<p>をきちっと一項目設けて、市民の皆さんにも考えてもらうということが重要だと思います。私はこのコロナウイルスはかなり人間の弱みを突いてくるような非常に危険なウイルスだと思うので、そう簡単にアフターコロナとかは言えないのではないかと考えています。これから仮に5年間の第3次総合計画の中で、やはりその危機感を持って、5年経っても収まらないかもしれないし、村上市もどうなるかわからないということもあるので、その点の危機感を持って、この総合計画にも何か一項目設けていただきたいというのが私の思いです。</p> <p>今のご意見はとても大事なことだと思いました。それを聞いて、先ほど体系のところ、基本目標の表現についてより具体的にこうしたらどうかという提案をした文章があったのですが、私は今のようなものも考慮して、基本目標2のところ、「自然が豊かで癒される生活環境を維持する」という目標と、「大災害や新興感染症、事件・事故などから生命や財産を守る生活環境を整備して、より安心して暮らすことができる住民を増やす」という、5年間で少しは目標達成ができるのではないかと目標を提案したいと思います。</p> <p>時代の流れで大きな気象異常とか、大災害、それから地震の不安などということではありますが、人間の英智を集結して対応しなければいけないけれども、そこから守るための生活環境ということを、やはり具体的に整備していく。様々な制度とか、万が一の時の対応の在り方というものを検討していくことについて、分野の目標として具体的に挙げてみたら、今の委員意見のようなことにも繋がるのではないかと提案したいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>(1) 健康のまちづくりなのか、(2) 安心なまちづくりなのかはありますが、いずれにしても、新興感染症は災害と並んで対応していくべきものではないのかというご意見だと承っております。</p>
副会長	<p>ワードの提案をしたいと思います。3ページのまちづくりの基本目標の一番下段の方に、「様々な主体と連携、協働しながら」という表記がありますが、昔は「連携」という言葉で表記されていたものに「協働」という言葉が入ってきましたが、今様々な環境が変化するなかで、もう少しステップアップした「融合」という言葉を提案したいと思います。実はワークショップでも出させていただいたのですが、先ほどの土地利用のところでも、例えば「交通と通信の融合」という表記がありましたが、例えば様々な主体となる団体が連携、協働、融合していくという少し先のことも見据えた表記をしていただけたらというお願いです。</p> <p>そうすると、例えば6ページの「多様で開かれたまちづくり」の部分でも「協力・連携し合い」となっていますが、「協働、融合」というような形で表記をすれば、もう少し密な関係を持って取り組んでいけるのではないかと思います。</p>
委員	<p>手短かに2点ほど。まず1点目は、この「広げる」、「創る」、「育む」の3つの、「広げる」という部分を今更例えば「繋げる」とか、未来に対して「繋ぐ」というようなものに変えることはできないものなのかということが一つ。</p> <p>もう1点が、先ほど委員がおっしゃった新型コロナウイルスについて、多分5年では収まっていないと思いますし、完全になくなるまでは10年以上かかるのではないかと言われていますので、振り返ってみれば第3次の時にこのような計画を立てたということが、10年後に思い出として出てよいから、やはりコロナに対しての村上市の安心安全なまちづくりと等しいわけですので、ど</p>

<p>会長</p>	<p>ここに項目として入れた方がよいかと思いました。 この「広げる」、「創る」、「育む」について、市の方から教えていただきたい。</p> <p>質問事項ですので、2ページの「広げる」、「創る」、「育む」について、考え方を教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>「創る」、「育む」、「広げる」につきましては、2ページ目の上段に書いてありますとおり、第2次総合計画で掲げた基本理念を引き継ぎながらということで、村上市民憲章にもこの3つのワードが取り入れられております。これを引き継ぐものと考えておりますので、変更は考えておりません。</p>
<p>事務局</p>	<p>私の方から補足させていただきます。</p> <p>先ほど「広げる」の「拡大成長する」という項目にご意見をいただき、確かに今の時代そうだなと感じたところですが、なぜ拡大を入れたのかと言いますと、意図的に言えば、産業分野からすればやはり成長する、拡大するということが目標になる。何度も申し上げますけれども、私ども行政の視点からすれば、福祉も最高を目指さなければいけない、産業も最高を目指さなくてはならない、あらゆる人にとって思いを繋ぐという意味もありますので、そうした部分で「拡大」というようにさせていただいたところではありますが、あまりにも今の時代に合わないのではないかというご意見があれば、それはそのとおりにさせていただくようなことを考えておりますが、成長していくということは、今の時代であっても大切なことだと捉えております。</p> <p>また、「繋ぐ」というお話がありました。「繋ぐ」というところは「育む」というところに包含させていただきたいと考えております。この3つのキーワードがどうしてこれなのかということをおっしゃりますが、第2次総合計画冊子の11ページになりますが、「育む」というところに「やさしさと故郷の誇りを育み、人が育つまちをつくる」というように書きました。では、「育む」とは人なのかということですが、基本理念から言えば「育む」は産業だったり、農作物だったり、様々な部分のまず始まりであり、それを少しずつ大きく成長させていき、そして繋いでいくというようなイメージの中から「育む」というワードが出ております。</p> <p>それから、「創る」というものは、ここでは「賑わいと輝きをつくり、活力のある」というような、産業をイメージするようなまちの活気みたいなのところをイメージするワードが書いてありますが、それは引っ張られてしまうのですが、「創る」ということは物を創り出すにも当てはまりますし、様々な繋がりを創り出すにも当てはまりますし、福祉の制度を創り出すなど様々なところで想像力を持って、物事を一歩進んで創り出すという意味合いです。</p> <p>先ほど委員の方から持続させることであるとか、小さいところはどうかというような話もありました。ですが、同じ物をつくっていても、やはり工夫をかけていこうとか、新しい取組をしていこうということは、「創る」という部分に通じるのではないかというように考えておりますし、「広げる」ということも、成長するということはやはり若い世代にとっても成長がないところにイメージが育たないということもありますし、そうした部分で広がりを持つ村上市ということも、どこを切り取っても目指していかなくてはならないのではないかというように捉えております。</p> <p>そうした部分で、この「育む」、「創る」、「広げる」というところを様々な意味でキーワードとして、市の根幹のところに入っておりますし、あまり時代が変わっても不変なのではないかというように捉えております。また、ここが例えば「繋ぐ」という言葉が入った時に、どんどん成長していった時代に繋ぐと</p>

	<p>いうことはどうなのかというように捉えるところもありますので、そうしたところで、もう一度お考えをいただきたいというように思います。</p> <p>また、先ほど委員の方から、基本目標の4ページのところに、「豊かで」の前に「自然」という言葉を付けた方がよいのではないかというお話がございました。「豊かで安心のまちづくり」の「豊か」というところに、先ほどの話ではないですけれど様々な文が入りまして、ここを「自然豊かで」としてしまうと自然に引っ張られてしまいまして、なかには他の委員のように、まちを眺めると殿様になったような気分でやはり景観がよいなど、自然だけではないのです。やはりそうした部分で、景観であったりまちの姿であったり、それを「豊か」という言葉に包含させたということで、「自然」と付けるとやはり自然環境という形に引っ張られてしまうということで、あえて除いたということになっております。</p> <p>なお、①から⑩の中に、様々な部分で込められておりますが、ここで感染症対策が足りないということでご指摘をいただいたので、さすがに今の時代は、感染症対策はこれからも続くと思いますので、そうしたものを加えていければよいと思っております。</p>
委員	<p>今のお話のところで伝え間違いをしたのかもしれませんが、「自然が」を付けると言ったのは、資料2の1ページの下に黒丸で4項目書いてありますが、この3番目の冒頭のところに「自然が豊かで美しい郷土に」といるのかと思ったのです。その方がじっくりくるのではないかという意味でした。</p>
事務局	<p>大変失礼しました。1ページにつきましても同じように考えますと、「自然が豊かで美しい郷土」は、自然ばかりであってよいのかという部分もありますので、そこは委員の皆様の方で「自然が豊かで」とした方がよいということであれば、「自然が豊か」とした方がよろしいかと思えますし、自然だけではない様々な部分が豊かだということであれば、また自然だけに拘らないのであれば、敢えて付けるべきではないというように思いますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>恐れ入ります。各委員の皆様にお伺いしたいのですが、議論をしていくと2時間を優に超してしまう可能性があります。実は私もいろいろと用意してきたのですが、私だけでも30分はかかります。なので、この場でどうしても言っておきたいこと以外のものは、例えば期限を区切って再度意見を提出させる機会を事務局で設けていただけませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>ということで、大変恐縮なのですが、私の方でも実は2,30分申し上げたいこともあります。それでは皆様の貴重な時間を取ってしまいます。既に意見を提出する様式があるかと思っておりますので、それを事務局から示していただいたうえで、期限を区切って今日の会議では言えなかった、言い足りなかった意見というものを出していただく。その機会を事務局の方で設定していただきたいと思っております。皆さんそれでよろしいでしょうか。</p> <p>大変申し訳ないですが、私の議事進行が悪く大分時間を過ぎてしまったことをお詫びいたします。とは言うものの、やはりこの場で、今後意見を提出するにあたって確認しておきたいことがございますでしょうか。</p>
委員	<p>細かいところは、今会長の方から提案があったとおりの文章で出したいと思っておりますが、1点確認したいことがございます。第3次総合計画では、資料2の2ページで基本理念の「創る」、「育む」、「広げる」の3つのテーマが、今申し上げた順番になっておりますが、第2次総合計画では、「育む」、「創る」、「広げる」</p>

事務局	<p>という順番になっておりました。この順番を入れ替えたのは何か意図があつてのことなのか、そこを確認したいと思います。</p> <p>資料2の2ページに、「創る」、「育む」、「広げる」とあり、文中に「志」という言葉も使わせていただきまして、この3つのワードが原動力になって物事を進めていくという力を生み出すようなイメージを持っております。図で書いたとおり回るようなイメージを持っております。回るとなった時に、創って育てて広げるというような回りの方が理解しやすいのではないか、わかりやすいのではないかというニュアンスで順番を変えていました。</p>
会長	<p>他にこの場で確認しておきたいことはございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、この資料2については今後追加意見を提出する機会を設けていただくことを前提にして、この場ではこれでクロージングさせていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>4 その他 (1) 次回の開催日 (事務局が説明)</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>